

令和 2年 8月18日

(一社)日本火葬技術管理士会
役員各位

(一社)日本火葬技術管理士会
会長 三木 求

第6回日本火葬フォーラムの中止について(お知らせ)

時下、ますますご健勝のことと存じます。

平素は、本会の運営に格段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、一時収束に向かうと思われた新型コロナウイルスですが、その後再拡大傾向に転じ連日報道される各地の感染者数の爆発的な増加に、只々驚きを禁じえません。

このような状況の中で、フォーラムを開催することが適切なのか非常に苦慮するところです。

つきましては、本会の役員の皆様にご意見等をお伺いすべく、令和2年8月7日付メール等で「火葬フォーラム開催に伴う意向調査」を実施したところです。

その結果につきましては、次のとおりです。

対象者:12名 回収:11名 未回答:1名 回収率:91.66%

1 予定どおり(10/22)に開催することについて

・賛成:3 ・反対:7 ・どちらともいえない:1 ・未回答:1

2 予定どおり開催するとしたら、あなたは参加できますか。

・参加できる:3 ・参加できない:8 ・どちらともいえない:0 ・未回答:1

主な理由

- ・感染者が出た時、組織としてのリスクが大きい。(風評被害)
- ・感染拡大に伴い、不要不急の外出を避け、オンライン会議やテレワークを活用し、万が一のために連絡体制を構築するなどの基本方針を定め、社内外にその情報発信を行っていることもあり、社業以外での参加が難しい。
- ・委託者である自治体から、新型コロナウイルスの陽性者を出せば業務が立ち行かなくなるため、県をまたぐ移動は厳に慎んでほしいと要請されている。
- ・感染するのもさせるのも怖いものがあり、もしもの場合には社会的な制裁を被ることになりリスクが大きすぎる。
- ・開催まで約2か月あるので、収束に向かっているのではないのか、etc.

以上、開催に対するコンセンサスや、当日のフォーラムの運営等を考えると、到底開催できる状況ではないと判断し、第6回日本火葬フォーラムの開催を中止せざるを得ないという苦渋の決断に至った次第です。併せて、10月理事会も中止とさせていただきます。

開催に向けて準備にご協力いただいた皆様や、当日ご参加を予定していただいていた方々に心からお詫び申し上げます。

なお、今回の意向調査につきましては、事後承諾となりますが、役員全員のご意見をお伺いさせていただいたこととともに、案件の重大性に鑑み「書面による臨時理事会」という位置付けにさせていただきますたくお願い申し上げます。